

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	中国デザイン専門学校
設置者名	学校法人第一平田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	ビジュアルデザイン科	夜・通信	248	240	
	インテリア・プロダクト科	夜・通信	272	240	
	ITデジタルクリエイター科	夜・通信	170	160	
造形専門課程	総合デザイン科	夜・通信	323	320	
服飾専門課程	ファッションデザイン科	夜・通信	255	240	
	ショッピングプロデュース科	夜・通信	187	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/">https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	中国デザイン専門学校
設置者名	学校法人第一平田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	中国デザイン専門学校 元教員 (平成12年3月31日退職)	令和3年6 月1日～令 和7年5月 31日	教職員指導
非常勤	岡山県議会議員	令和3年6 月1日～令 和7年5月 31日	コンプライアンス 指導
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	中国デザイン専門学校
設置者名	学校法人第一平田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当学科のカリキュラムに鑑み各科目の内容やスケジュール、課題等が学生にとって明確に判るよう、科目担当者及び学科担当者が作成を行う。</li> </ul> <p>記載項目は「科目名」「単位数」「開講期」「担当講師名」「実務家教員担当の有無」「実務家教員の実務経歴」「企業連携の有無」「学科・学年」「授業の形態」「1日当たりの授業時間」「学修する目的」「学修到達目標」「履修にあたっての留意点」「授業計画と内容」「授業で重要視する社会人基礎力」「提出課題内容」「使用教材・教具」「評価項目と割合」とし、所定の様式に予め定められた字数以内で記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバスは年度初めに配布する。シラバスの原稿は学科毎にとりまとめ、前年度末中に完成させる。</li> <li>・シラバスは全学生への配布や学校窓口への設置、学生募集時に希望者に配布を行っている。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/">https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>履修した学科目ごとに出席回数が3分の2以上を満たした者に考査の受験資格を与える。</p> <p>考査は課題試験、筆記試験のいずれかにより行い評価方法及び評価項目ごとの評価割合はシラバスに記載の内容とする。</p> <p>考査結果は学則上で定める方法により成績判定を行い、基準を満たした者を合格とし、合格した者に単位を与える。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  学期末の考査により科目ごと総合評価を100点満点で付け、学年末に全考査の総合評価の平均値を個人別に算出する。</p> <p>個人別の平均値を「総合成績一覧表」に記載し、これを学科およびクラス別成績分布の記録とする。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	<a href="https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/">https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  進級には年間35単位以上及び該当年次における全必修科目の取得を要し、卒業には、4年制学科は140単位、3年制学科は105単位、2年制学科は83単位を要する。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	<a href="https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/">https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	中国デザイン専門学校
設置者名	学校法人第一平田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/">https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/">https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/</a>
財産目録	<a href="https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/">https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/</a>
事業報告書	<a href="https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/">https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/">https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ビジュアルデザイン科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	105単位	272 単位時間	3950 単位時間	1289 単位時間	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			5511 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		106人	0人	6人	15人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業は講義・演習・実習のいずれかの形式で行う。授業は毎週行い、授業時間は50分で区切りこれを時限とする。授業は1年を2期に分け、期末ごとに考査を行う。 ・年間の授業計画・・・『シラバス』（PDFデータ配布）
成績評価の基準・方法
（概要）履修した学科目ごとに出席回数が3分の2以上を満たした者に考査の受験資格を与え、考査は課題試験、筆記試験のいずれかにより行う。科目ごと設定した評価方法により評価を判定し、成績評価とする。評価方法及び評価項目ごとの評価割合はシラバスの該当科目の頁に記載の設定内容とする。 成績評価の基準を満たした者を合格とし、合格した者に単位を与える。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級には年間35単位以上及び該当年次における全必修科目の取得を要し、卒業には4年制学科は140単位、3年制学科は105単位、2年制学科は83単位を要する。
学修支援等

(概要)  
 担任制により個別指導や相談が随時できる体制を取っている。学習に関する指導は科目担当・分野担当教員も併せて行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	0人 (0%)	17人 (81%)	4人 (19%)
(主な就職、業界等) デザイン、広告、企画			
(就職指導内容) 個別就職希望調査の実施、学内外講師による就職ガイダンスの実施、三者面談での就職希望状況確認、企業見学、就職説明会参加、個別試験対策指導を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩士検定、Illustrator®クリエイター能力検定、ビジネス能力検定、情報デザイン検定、iB u t			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
92人	3人	3.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、修学意欲の低下、健康的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前教育(プレスクール)の実施、個別面談・三者面談の実施、学生主体イベント開催		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	インテリア・プロダクト科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	105単位	425 単位時間	2682 単位時間	1659 単位時間	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			4766 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
45人	24人	0人	2人	14人	16人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・授業は講義・演習・実習のいずれかの形式で行う。授業は毎週行い、授業時間は50分で区切りこれを時限とする。授業は1年を2期に分け、期末ごとに考査を行う。 ・年間の授業計画・・・『シラバス』(PDFデータ配布)
成績評価の基準・方法
(概要) 履修した学科目ごとに出席回数が3分の2以上を満たした者に考査の受験資格を与え、考査は課題試験、筆記試験のいずれかにより行う。科目ごと設定した評価方法により評価を判定し、成績評価とする。評価方法及び評価項目ごとの評価割合はシラバスの該当科目の頁に記載の設定内容とする。 成績評価の基準を満たした者を合格とし、合格した者に単位を与える。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級には年間35単位以上及び該当年次における全必修科目の取得を要し、卒業には4年制学科は140単位、3年制学科は105単位、2年制学科は83単位を要する。
学修支援等
(概要) 担任制により個別指導や相談が随時できる体制を取っている。学習に関する指導は科目担当・分野担当教員も併せて行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	9人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 建築設計、家具製作、雑貨販売			
(就職指導内容) 個別就職希望調査の実施、学内外講師による就職ガイダンスの実施、三者面談での就職希望状況確認、企業見学、就職説明会参加、個別試験対策指導を実施している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 色彩士検定、インテリアコーディネーター、ビジネス能力検定、情報デザイン検定、iBut、建築CAD検定、二級建築士			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	1人	3.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前教育(プレスクール)の実施、個別面談・三者面談の実施、学生主体イベント開催		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	ITデジタルクリエイター科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	83単位	170単位 時間	1224単位 時間	711単位 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2105単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	7人	0人	2人	5人	7人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・授業は講義・演習・実習のいずれかの形式で行う。授業は毎週行い、授業時間は50分で区切りこれを時限とする。授業は1年を2期に分け、期末ごとに考査を行う。 ・年間の授業計画・・・『シラバス』(PDFデータ配布)
成績評価の基準・方法
(概要) 履修した学科目ごとに出席回数が3分の2以上を満たした者に考査の受験資格を与え、考査は課題試験、筆記試験のいずれかにより行う。科目ごと設定した評価方法により評価を判定し、成績評価とする。評価方法及び評価項目ごとの評価割合はシラバスの該当科目の頁に記載の設定内容とする。 成績評価の基準を満たした者を合格とし、合格した者に単位を与える。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級には年間35単位以上及び該当年次における全必修科目の取得を要し、卒業には4年制学科は140単位、3年制学科は105単位、2年制学科は83単位を要する。
学修支援等
(概要) 担任制により個別指導や相談が随時できる体制を取っている。学習に関する指導は科目担当・分野担当教員も併せて行っている。



卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前教育(プレスクール)の実施、個別面談・三者面談の実施、学生主体イベント開催		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		造形専門課程	総合デザイン科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	140単位	476単位 時間	5487単位 時間	2958単位 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			8921単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
0人		0人	0人	0人	0人	0人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）・授業は講義・演習・実習のいずれかの形式で行う。授業は毎週行い、授業時間は50分で区切りこれを時限とする。授業は1年を2期に分け、期末ごとに考査を行う。 ・年間の授業計画・・・『シラバス』（PDFデータ配布）
成績評価の基準・方法

<p>(概要) 履修した学科目ごとに出席回数が3分の2以上を満たした者に考査の受験資格を与え、考査は課題試験、筆記試験のいずれかにより行う。科目ごと設定した評価方法により評価を判定し、成績評価とする。評価方法及び評価項目ごとの評価割合はシラバスの該当科目の頁に記載の設定内容とする。 成績評価の基準を満たした者を合格とし、合格した者に単位を与える。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要) 進級には年間 35 単位以上及び該当年次における全必修科目の取得を要し、卒業には 4 年制学科は 140 単位、3 年制学科は 105 単位、2 年制学科は 83 単位を要する。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要) 担任制により個別指導や相談が随時できる体制を取っている。学習に関する指導は科目担当・分野担当教員も併せて行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 ( 0%)	0 人 ( 0%)	0 人 ( 0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果 (資格・検定等) )			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前教育(プレスクール)の実施、個別面談・三者面談の実施、学生主体イベント開催		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾・家政	服飾専門課程	ファッションデザイン科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	105単位	203 単位 時間	1927 単位 時間	1459 単位 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3589 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	13人	0人	2人	7人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業は講義・演習・実習のいずれかの形式で行う。授業は毎週行い、授業時間は50分で区切りこれを時限とする。授業は1年を2期に分け、期末ごとに考査を行う。 ・年間の授業計画・・・『シラバス』（PDFデータ配布）
成績評価の基準・方法
（概要） 履修した学科目ごとに出席回数が3分の2以上を満たした者に考査の受験資格を与え、考査は課題試験、筆記試験のいずれかにより行う。科目ごと設定した評価方法により評価を判定し、成績評価とする。評価方法及び評価項目ごとの評価割合はシラバスの該当科目の頁に記載の設定内容とする。 成績評価の基準を満たした者を合格とし、合格した者に単位を与える。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級には年間35単位以上及び該当年次における全必修科目の取得を要し、卒業には4年制学科は140単位、3年制学科は105単位、2年制学科は83単位を要する。
学修支援等
（概要） 担任制により個別指導や相談が随時できる体制を取っている。学習に関する指導は科目担当・分野担当教員も併せて行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	6人 (85.7%)	1人 (14.3%)
（主な就職、業界等） デザイナー、パタンナー、縫製、企画			
（就職指導内容） 個別就職希望調査の実施、学内外講師による就職ガイダンスの実施、三者面談での就職希望状況確認、企業見学、就職説明会参加、個別試験対策指導の実施を行っている。			

(主な学修成果(資格・検定等)) ファッション色彩能力検定、色彩士検定、ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング検定、ビジネス能力検定、情報デザイン検定、i B u t

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前教育(プレスクール)の実施、個別面談・三者面談の実施、学生主体イベント開催		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		服飾専門課程	シヨッププロデュース科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	8 3 単位	297 単位時間	1133 単位時間	643 単位時間	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			2073 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		4 人	0 人	1 人	6 人	7 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・授業は講義・演習・実習のいずれかの形式で行う。授業は毎週行い、授業時間は50分で区切りこれを時限とする。授業は1年を2期に分け、期末ごとに考査を行う。 ・年間の授業計画・・・『シラバス』(PDFデータ配布)
成績評価の基準・方法
(概要) 履修した学科目ごとに出席回数が3分の2以上を満たした者に考査の受験資格を与え、考査は課題試験、筆記試験のいずれかにより行う。科目ごと設定した評価方法により評価を判定し、成績評価とする。評価方法及び評価項目ごとの評価割合はシラバスの該当科目の頁に記載の設定内容とする。 成績評価の基準を満たした者を合格とし、合格した者に単位を与える。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級には年間35単位以上及び該当年次における全必修科目の取得を要し、卒業には4年制学科は140単位、3年制学科は105単位、2年制学科は83単位を要する。

学修支援等 (概要) 担任制により個別指導や相談が随時できる体制を取っている。学習に関する指導は科目担当・分野担当教員も併せて行っている。
---

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	1人	50%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前教育(プレスクール)の実施、個別面談・三者面談の実施、学生主体イベント開催		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
ビジュアルデザイン科	250,000円	960,000円	328,000円	その他に含まれる主な費用：設備費、実習費、安全管理費
インテリア・プロダクト科	250,000円	960,000円	328,000円	その他に含まれる主な費用：設備費、実習費、安全管理費
ITデジタルクリエイター科	200,000円	720,000円	178,000円	その他に含まれる主な費用：設備費、実習費、安全管理費
総合デザイン科	250,000円	960,000円	328,000円	その他に含まれる主な費用：設備費、実習費、安全管理費
ファッションデザイン科	250,000円	960,000円	328,000円	その他に含まれる主な費用：設備費、実習費、安全管理費
ショッププロデュース科	200,000円	720,000円	178,000円	その他に含まれる主な費用：設備費、実習費、安全管理費
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
<a href="https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/">https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/</a>		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
<p>「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として卒業生、保護者、各専攻分野に関連する企業等の担当者から計5名以上を委員に任用し委員会を実施。</p> <p>企業等委員との密接な連携による取り組みを重要視し、学校運営・教育環境・教育成果・学生支援等に関する学校評価結果を元に、学校長の指揮により組織的・継続的な教育活動等の改善に毎年取り組んでいる。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
PATTERN STUDIO SYNERGY	令和6年4月1日～令和8年3月31日	企業等委員
株式会社ケイズ・ユニット	令和6年4月1日～令和8年3月31日	企業等委員
Famo. Design Studio	令和6年4月1日～令和8年3月31日	企業等委員
丹羽建築設計事務所	令和6年4月1日～令和8年3月31日	企業等委員

中国デザイン専門学校 卒業生	令和5年4月1日～令 和7年3月31日	卒業生
中国デザイン専門学校 教育助成会会長	令和6年4月1日～令 和7年3月31日	PTA
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/">https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/">https://www.cdc-de.ac.jp/info/release/</a>
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H133310000088
学校名 (〇〇大学 等)	中国デザイン専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人第一平田学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		25人	25人	25人
内 訳	第Ⅰ区分	16人	15人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				25人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数



	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下）	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	前半期	後半期	
0人	0人	0人	0人

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	-	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。